厚労省、12年労災発生状況

極めて憂慮すべき事態

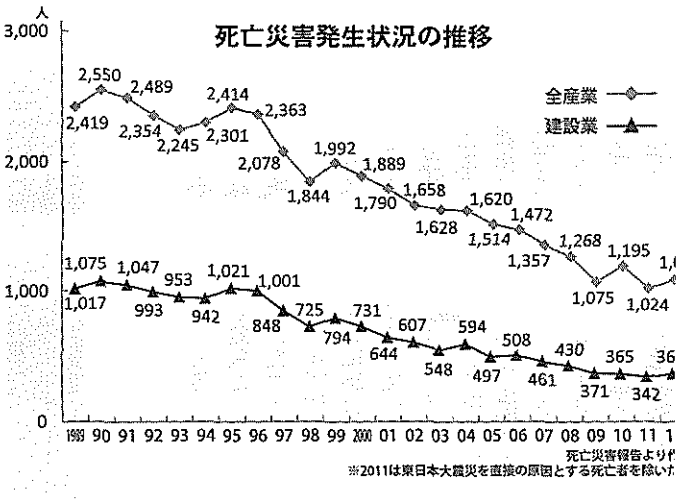
死傷・重大が3年連続増加

厚生労働省は、2012年の労働災害発生状況をまとめた。建設業の死亡者数は367人で前年より25人（7・3％）増加し、全産業の33・6％を占めた。死傷者数（死亡・休業4日以上）は300人（1・8％）増の1万7073人となり、全産業の14・3％を占めた。一時に3人以上が死傷、またはり病した重大災害は105件で10件増えた。死亡災害、死傷災害、重大災害のいずれもが増加し、特に、死傷災害と重大災害は3年連続して増加するという極めて憂慮すべき事態となった。

建設業の死亡災害は、高所からの「墜落・転落」が157人（42・8％）で最も多く、以下、土砂崩壊や建設機械などによる「崩壊・倒壊」37人（10・1％）、「はさまれ・巻き込まれ」35人（9・5％）、「激突され」32人（8・7％）－の順に多かった。建設業の死亡災害の7割をこれらの災害が占めた。

一方、建設業の死傷災害は「墜落・転落」が最も多く、5892人（34・5％）となった。以下、「はさまれ・巻き込まれ」1873人（11％）、「飛来・落下」1801人（10・5％）の順に多く、建設業の死傷災害の6割近くをこれらの災害が占めた。

厚労省は、▽東日本大震災直後に停滞していた経済活動が回復。復旧・復興工事による建設工事量の増加などにより、11年に比べ12年の経済活動が活発だった▽第3次産業の労働者数の全産業に占める割合が高くなる中で、第3次産業の安全管理体制が必ずしも確保されているとはいえない懸念がある▽建設業や製造業は、厳しい経営環境が安全衛生活動を後回しにしやすい－の三つを、12年の労働災害が増加した要因とみている。



〝夢の貯金箱〟

社会貢献で国料建設

㈱国料建設（國料修一社長、いちき串木野市）はこのほど、同市東塩田町の本社敷地内に寄付付き自動販売機「夢の貯金箱」を設置した＝写真＝。県内では46台目の設置で、県内建設業界では初の試みとなる。

夢の貯金箱は、日本財団が公益活動の一環で全国的に展開している事業。同自販機を設置し、飲料1本を購入することで、そのうちの10円が自動的に寄付される仕組み。主な寄付先には、犯罪被害者や重度の病、障害に苦しむ人への支援のほか、アジア貧困地域の学校建設などがある。

「社員の福利厚生の一環で、以前から自動販売機の設置を検討していた」と話す同社の國料修兵専務。設置した自動販売機は社員や地域住民が購入しやすいよう、商品の大半を100円に設定している。

飲料を安価で購入することが可能で、そのうちの10円が支援を求める人たちに寄付できることがこの自販機の大きなメリット。國料専務は「だれもが身近なところで支援できるということをもっと多くの方々に知ってもらえれば。この取り組みの輪が広がるようPRしていきたい」と力を込めた。

夢の貯金箱に関する情報は、日本財団ホームページ（http://www.nippon-foundation.or.jp/）まで。

県内業界初の設置

土木学会 あすから受付け

土木技術者資格

土木学会は、「土木学会認定土木技術者資格審査」の受験申し込みを6月1日から受け付ける。締め切りは30日まで。試験日は「特別上級」が11月16日。「上級」と「1級」のコースAは筆記試験を8月31日に全国8会場で、コースBは10月～12月に口頭試問を東京でそれぞれ行う。

土木学会認定土木技術者資格制度は、2001年度にスタートした土木学会独自の制度で、倫理観と専門的能力を持つ土木技術者を土木学会が責任を持って評価し、社会に明示するもの。「特別上級」「上級」「1級」「2級」の階層に分かれ、実務に携わっている土木技術者の実務能力を認定することで、キャリアアップの道筋を示している。「特別上級」から「2級」までの有資格者数は現在1500人。土木学会会員以外の資格者も多く、「1級」は約7割を、「上級」は約4割を非会員が占めている。

受験料は「特別上級」が一般3万円、会員2万円で、「上級」は一般2万1000円、会員1万1000円、「1級」が一般1万8000円、会員1万1000円。「2級」の受験料は一般、会員とも6000円。いずれの階層も、このほかに認定証交付手数料（登録管理費）が必要。また「2級」は全国47都道府県の指定試験場で通年受験ができる。5年ごとの更新は継続教育（CPD）の受講が必須。

問い合わせは、土木学会技術推進機構（☎03・3355・3502）まで。

試用版1カ月無償提供

国土地理院「電子地形図25000」

国土地理院は、データの一部不具合によって販売を一時停止していた「電子地形図25000」の販売を7月中旬に再開する。これに先立って「試用版」を6月中旬から1カ月間無償で提供することとし、希望者の事前登録を院のホームページで始める。

試用版に使用するのは「定型版」（全国の25000分の1地形図の区画ごとの地図画像データ）。従来販売していた定型版の「建物グレーで陰影なし」を多様化し、「建物はピンクまたはグレー」「陰影表現（地形の凹凸を分かりやすくする

業界あれこれ

◆川内川河川事務所管内の銀杏木排水機場が故障　九州地方整備局川内川河川事務所は29日、同事務所が管理する川内川水系銀杏木排水機場が故障したと発表した。

発表によると、同排水機場の所在地は薩摩川内市宮内町。排水量毎秒5㎥のポンプ2台のうち、1台でガスタービンの故障が確認された。

同事務所では、排水ポンプ車を現地に配置したほか、故障期間中は監視体制などを強化する。

おくやみ情報をお寄せください